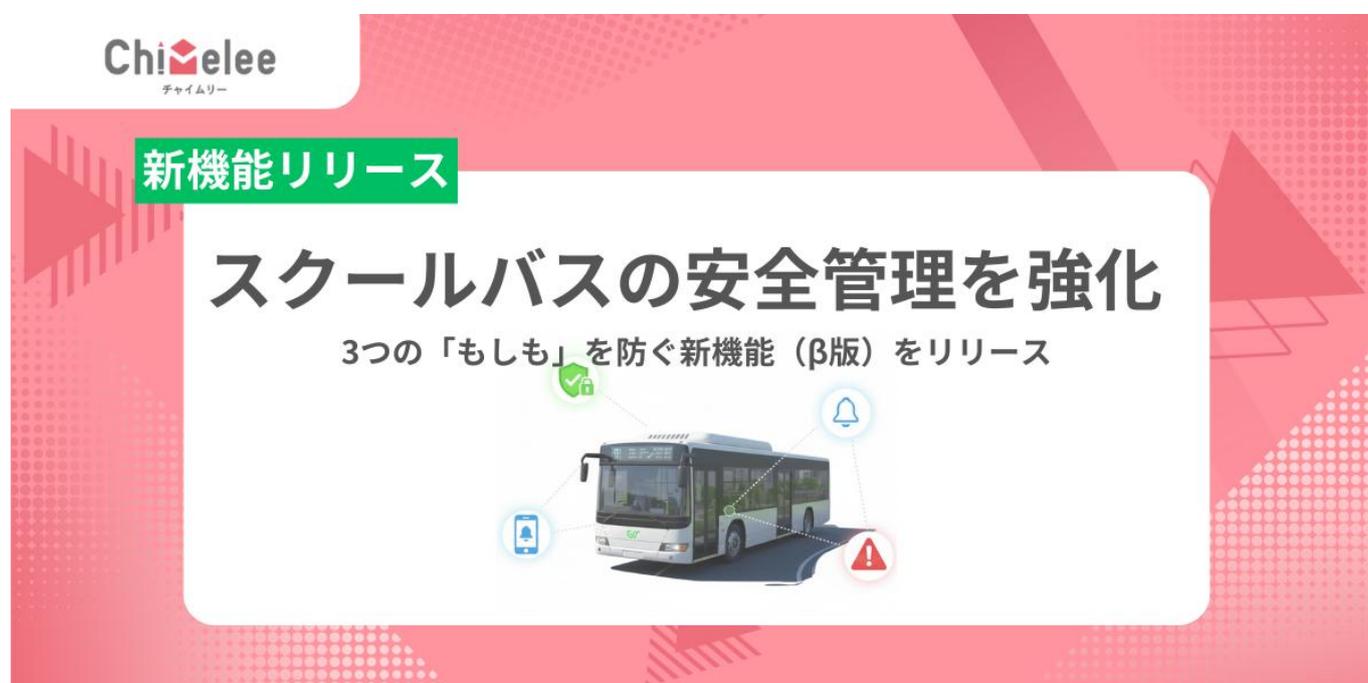


2026年3月10日
VISH株式会社(ヴィッシュ株式会社)

「Chimelee(チャムリー)」が児童の置き去りや誤降車を防ぐ3つの新機能(β版)をリリース。スクールバス運行の安全管理を強化。

VISH株式会社(本社:愛知県名古屋市、代表取締役:田淵 浩之)は、2026年3月10日(火)、同社が開発・提供をする教育機関向け連絡システム「Chimelee(チャムリー)」にて、スクールバスの運行管理における児童の乗降ミスや車内置き去りを検知・防止する「降車間違い防止」「乗車漏れアラート」「降車漏れアラート」の3つの新機能(β版)をリリースいたしました。

Chimelee 公式ホームページ:<https://www.buscatch.com/chimelee/>



The graphic features the Chimelee logo at the top left. A green banner reads '新機能リリース' (New Function Release). The main title is 'スクールバスの安全管理を強化' (Strengthening School Bus Safety Management), with a subtitle '3つの「もしも」を防ぐ新機能(β版)をリリース' (Release of 3 new functions (beta version) to prevent 3 'what-ifs'). Below the text is an illustration of a school bus with icons for a checkmark, a bell, and a warning sign, representing the new safety features.

■ 機能リリースの背景:変化する通学環境と、「安全」への責任

少子化の進行により学校再編が加速するなか、通学路の長距離化に伴う通学手段の確保が問題となります。この課題を解決する手段としてスクールバスの導入が全国的に加速しています。

一方で、運行路線や利用児童数が増えるにつれ、保護者の不安や児童の安全リスクもまた増大しています。

- 「乗るはずのバスに乗り遅れて、一人取り残されていないか」
- 「間違ったバス停で降りて、どうしようもできない状態になっていないか」
- 「車内での置き去りリスクはないだろうか」

こうした不安は、保護者だけでなく、日々細心の注意を払って運行に当たる教職員や乗務員の皆様にとっても大きな心理的負担となっています。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

VISH株式会社 担当:北山 悟史(きたやま さとし) TEL:052-232-2311 MAIL:ed@vish.co.jp

●「ヒューマンエラー」を可能な限りシステムで防ぐ・カバーする

スクールバスの運行において、最も避けなければならないのは「乗降ミス」や「置き去り」です。現場の先生方や乗務員の方々がどれほど注意を払っても、人間である以上、予期せぬ事態や「うっかり」といったヒューマンエラーは避けられません。

Chimelee は、「人の目」だけに頼るのではなく、デジタルが「もう一つの目」として寄り添う仕組みが必要だと考えました。万が一の事態を即座に検知・通知する仕組みをつくるために 3 つの機能を開発いたしました。

■ 3 つの安心機能(β 版)の概要

本機能は、バス車内に設置したタブレット(もしくはタブレットに接続した二次元バーコードリーダー)に、児童が自身の二次元バーコードをかざして打刻を行うことで、リアルタイムに乗降記録を行う仕組みです。この打刻データをもとに、システムが自動で乗降予定との照合や判定を行います。

1. 降車間違い防止(車内アラート)

児童が本来降りる予定ではない停留所で誤って打刻をした際、車内で即座にエラー音が鳴る仕組みです。

- **解決する課題:**「うっかり別のバス停で降りてしまった」という事態を、その場で食い止めます。
- **アナログ管理との比較:**紙の名簿による目視チェックでは、停留所ごとの名簿切り替えや、似た名前の児童との取り違えなど、混雑時の判断ミスを防ぎきれないリスクがありましたが、デジタル判定により確実に検知します。



2. 乗車漏れアラート

登校便において、乗車予定だった児童の乗車打刻が確認できなかった場合、保護者や学校管理職へリアルタイムで通知を飛ばします。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

VISH 株式会社 担当：北山 悟史（きたやま さとし） TEL：052-232-2311 MAIL：ed@vish.co.jp

- **解決する課題:**「乗車予定であるはずなのにバスに乗っていない」「誰にも気づかれずにバス停で取り残されてしまった」状況をいち早く把握し、迅速な確認と対応を可能にします。
- **アナログ管理との比較:**従来の名簿確認では、学校に到着して照合するまで「欠席」か「乗り漏れ」かの判断が困難でした。また、万が一車内で乗り遅れや異変に気づいたとしても、バス乗務員が即座に保護者や学校へ連絡を入れることは運用上難しく、タイムラグが生じがちです。本機能の活用で、より早い段階で異常を察知し、保護者や関係者へ通知します。



3. 降車漏れアラート

下校便において、降車予定であった停留所で降車打刻が行われなかった場合、保護者や学校管理職へアラート通知を送信します。

- **解決する課題:**車内への置き去り防止や、降り損ねてしまった児童の早期発見をサポートします。
- **アナログ管理との比較:**降車確認の漏れは、最悪の場合「車内の置き去り」に直結します。人の目による最終確認に加え、システムによる二重のチェック(打刻漏れ検知)を行うことで、重大な事態に発展する前に迅速な対応を可能にします。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

VISH 株式会社 担当：北山 悟史（きたやま さとし） TEL：052-232-2311 MAIL：ed@vish.co.jp



■ システム利用料金について

本機能はバス乗降管理オプション(月額 1,000 円)に含まれます。スタンダードプラン(月額 9,000 円)またはスクールバスプラン(月額 5,000 円)にオプションを追加するだけで、すぐに運用を開始できます。

- スタンダードプランの場合:月額 10,000 円(9,000 円+オプション 1,000 円)
- スクールバスプランの場合:月額 6,000 円(5,000 円+オプション 1,000 円)

低価格な料金設定により、予算を抑えながら確実な安全管理体制の構築を支援します。

※上記プランは 2026 年 4 月からの提供となります。

■ 今後の展開について

これらの機能は、現在 β 版として提供を開始いたします。実際の運用現場からのフィードバックを大切にし、より使いやすく、より確実な安全管理システムへと磨きをかけていく予定です。

Chimelee はこれからも、子どもたちが安心して登校でき、保護者の皆様が笑顔で送り出せる環境づくりを IT の力で支援してまいります。

教育機関向け連絡システム「Chimelee」とは



「Chimelee」は自社が提供する、教育機関の連絡手段のデジタル化を支援するクラウドサービスです。

2021 年 4 月に小中高等学校向け「れんらくアプリ」としてリリースし、サービスリリースから 3 周年を迎える 2024 年 3 月に「教育機関や保護者にとって大切な連絡事項をタイムリーに配信できるサービス」でありたいと

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

VISH 株式会社 担当：北山 悟史（きたやま さとし） TEL：052-232-2311 MAIL：ed@vish.co.jp

いう思いを再定義し、名称変更をおこないました。

メール配信、アンケート、欠席・遅刻・早退連絡、バス不要連絡、連絡ノートなどの便利な機能を、1施設あたり月額9,000円(税抜)~というリーズナブルな価格でご利用いただけます。

Chimelee 公式サイト: <https://www.buscatch.com/chimelee/>

導入実績マップ: <https://www.buscatch.com/info/results/map>

【VISH 株式会社(ヴィッシュ株式会社)】

代表者:代表取締役 田淵 浩之

所在地:愛知県名古屋市中区錦二丁目 10 番 13 号 SC 錦 ANNEX5F

設立:2004 年 12 月

資本金:1,150 万円

企業サイト:<https://www.vish.co.jp/>

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

VISH 株式会社 担当:北山 悟史(きたやま さとし) TEL:052-232-2311 MAIL:ed@vish.co.jp